

2223	佐原 辰巳他6名	メロン	プリンス
------	----------	-----	------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
オーガニック742	フィッシュリプル、脱脂米糠	ジャパンバイオファーム	7	0	4		2		100	元肥	140		1						
キーゼライト	水溶性苦土	三井物産株式会社(山口物産)								元肥	60		1						
2002/6/4	魚かす粉末	千代田肥糧株式会社(山口物産)	6	0	4		2		100	元肥	140		1						
アニリッチ	骨粉質類、魚粉類、動物かす粉末類、植物油かす類	長崎物産工業株式会社(長崎物産)	6	0	8		3		100	元肥			1						
ハーモニーシエル	かき殻	ジャパンバイオファーム		0						元肥									
堆肥																			
古代天然苦土																			
微量要素																			
鉄																			
マンガン																			
ホウ素																			

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	14	
計画使用量	0	

\*節減対象農薬

	当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除	
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤	3	22	
殺菌剤	4		
その他薬剤			
合計	7	22	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限		
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分	
殺菌	ランマンフロアブル	シアンファミド		べと病、根こぶ病	2000		前日まで								4	4	
殺虫	チェス顆粒水和剤	ピメトロジン		コナジラミ類・アブラムシ類	5000		3日前								4	4	
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病やダニの予防	1000		-	0							-	-	
殺菌	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム		うどんこ病菌、灰色かび病菌	1000		前日まで								-	-	
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン		べと病・疫病	2500		前日まで								3	3,3	
殺菌	キノドー水和剤	有機銅		べと病、炭疽病	800		10日前								5	5	
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類、コナジラミ類	4000		前日まで								2	2	
殺菌	アミスター20フロアブル	アノキシストロビン		うどんこ病菌、つる枯病、べと病	2000		前日まで								4	4	
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進	100		開花前日から翌日まで						開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花につき1回
生長調整	ジベレリン液剤	ジベレリン		着果促進	200ppm		開花前日から翌日まで						開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花当り1回
生長調整	アークランド液剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム		果実肥大促進	4000		着・摘み作業前(3日前まで)								2	2	

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月	施肥、定植	定植
3月		
4月	防除	
5月	収穫・収穫終了	
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

定植開始:	平成30年2月8日
終了:	平成30年2月24日
収穫開始:	平成30年5月4日
終了:	平成30年5月17日

2224 佐原 辰巳他6名	メロン	スーパーイエロー
---------------	-----	----------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
オーガニック742	フィッシュドリプル、脱脂米糠	ジャパンバイオファーム	7	0	4		2		100	元肥	140		1					
キーゼライト	水溶性苦土	三井物産株式会社(山口物産)								元肥	60		1					
2002/6/4	魚かす粉末	千代田肥機株式会社(山口物産)	6	0	4		2		100	元肥	140		1					
アニリッチ	粉類、動物かす粉末類、	長崎県農工株式会社(長崎肥研)	6	0	8		3		100	元肥			1					
ハーモニーシエル	かき殻	ジャパンバイオファーム		0						元肥								
堆肥																		
古代天然苦土																		
微量要素																		
鉄																		
マンガン																		
ホウ素																		

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	14	
計画使用量	0	

\*節減対象農薬

	当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除	
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤	3	22	
殺菌剤	4		
その他薬剤			
合計	7	22	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数/上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	ランマンフロアブル	シアゾファミド		べと病、根こぶ病	2000		前日まで								4	4
殺虫	チェス顆粒水和剤	ピメトロジン		コナジラミ類・アブラムシ類	5000		3日前								4	4
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病やダニの予防	1000		-		0						-	-
殺菌	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム		うどんこ病菌、灰色かび病菌	1000		前日まで		0						-	-
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサド		べと病・疫病	2500		前日まで								3	3,3
殺菌	キンドー水和剤	有機銅		べと病、炭疽病	800		10日前								5	5
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類、コナジラミ類	4000		前日まで								2	2
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン		うどんこ病菌、つる枯病、べと病	2000		前日まで								4	4
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進	100		開花前日から翌日まで								1	1
生長調整	ジベレリン液剤	ジベレリン		着果促進	200ppm		開花前日から翌日まで								1	1
生長調整	アークランド液剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム		果実肥大促進	4000		開花前日から翌日まで								2	2

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月	施肥、定植	定植
3月		
4月	防除	
5月	収穫・収穫終了	
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

定植開始:	平成30年2月8日
終了:	平成30年2月17日
収穫開始:	平成30年5月11日
終了:	平成30年5月24日

2225 佐原 辰巳他6名	メロン	アムス
---------------	-----	-----

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
オーガニック742	フィッシュドリンブル、脱脂米糠	ジャパンバイオファーム	7	0	4		2		100	元肥	140		1						
キーゼライト	水溶性苦土	三井物産株式会社(山口物産)								元肥	60		1						
2002/6/4	魚かす粉末	千代田肥糧株式会社(山口物産)	6	0	4		2		100	元肥	140		1						
アニリッチ	粉類、動物かす粉末類、	長崎製菓工業株式会社(長崎肥類)	6	0	8		3		100	元肥			1						
ハーモニーシエル	かき殻	ジャパンバイオファーム		0						元肥									
堆肥																			
古代天然苦土																			
微量要素																			
鉄																			
マンガン																			
ホウ素																			

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	14	
計画使用量	0	

\*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤	3	22
殺菌剤	4	
その他薬剤		
合計	7	22

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数/上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	ランマンフロアブル	シアソファミド		べと病、根こぶ病	2000		前日まで								4	4
殺虫	チェス顆粒水和剤	ピメトロジン		コナジラミ類・アブラムシ類	5000		3日前								4	4
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病やダニの予防	1000		-		0						-	-
殺菌	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム		うどんこ病菌、灰色かび病菌	1000		前日まで		0						-	-
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサド		べと病・疫病	2500		前日まで								3	3,3
殺菌	キンドー水和剤	有機銅		べと病、炭疽病	800		10日前								5	5
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類、コナジラミ類	4000		前日まで								2	2
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロピン		うどんこ病菌、つる枯病、べと病	2000		前日まで								4	4
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進	100		開花前日から翌日まで								1	1
生長調整	ジベレリン液剤	ジベレリン		着果促進	200ppm		開花前日から翌日まで								1	1
生長調整	アークランド液剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム		果実肥大促進	4000		開花前日から翌日まで								2	2

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月	施肥、定植	定植
3月		
4月	防除	
5月	防除・収穫	
6月	収穫・収穫終了	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

定植開始:	平成30年2月13日
終了:	平成30年3月4日
収穫開始:	平成30年5月18日
終了:	平成30年6月5日

2226 佐原 辰巳他6名	メロン	パナナ
---------------	-----	-----

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
オーガニック742	フィッシュドリブル、脱脂米糠	ジャパンバイオファーム	7	0	4		2		100	元肥	140		1						
キーゼライト	水溶性苦土	三井物産株式会社(山口輸送)								元肥	60		1						
2002/6/4	魚かす粉末	千代田肥産株式会社(山口輸送)	6	0	4		2		100	元肥	140		1						
アニリッチ	骨粉質類、魚粉類、動物かす粉末類、植物油かす類	長崎物産工業株式会社(長崎肥料)	6	0	8		3		100	元肥			1						
ハーモニーシエル	かき殻	ジャパンバイオファーム		0						元肥									
堆肥																			
古代天然苦土																			
微量要素																			
鉄																			
マンガン																			
ホウ素																			

使用量はkg/10a

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量(kg/10a)	
慣行使用量	14	
計画使用量	0	

\*節減対象農薬

	当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数		地域の慣行防除
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤	3	22	
殺菌剤	4		
その他薬剤			
合計	7	22	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数/上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	ランマンフロアブル	シアソファミド		べと病、根こぶ病	2000		前日まで								4	4
殺虫	チェス顆粒水和剤	ピメトロジン		コナジラミ類・アブラムシ類	5000		3日前								4	4
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病やダニの予防	1000		-		0						-	-
殺菌	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム		うどんこ病菌、灰色かび病菌	1000		前日まで		0						-	-
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサド		べと病・疫病	2500		前日まで								3	3,3
殺菌	キンドー水和剤	有機銅		べと病、炭疽病	800		10日前								5	5
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類、コナジラミ類	4000		前日まで								2	2
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロピン		うどんこ病菌、つる枯病、べと病	2000		前日まで								4	4
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進	100		開花前日から翌日まで					開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花につき1回
生長調整	ジベレリン液剤	ジベレリン		着果促進	200ppm		開花前日から翌日まで					開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花あたり1回
生長調整	アークランド液剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム		果実肥大促進	4000		開花前日から翌日まで								2	2

使用量/10a

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月	施肥、定植	定植
3月		
4月	防除	
5月	防除	
6月	収穫・収穫終了	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

定植開始:	平成30年2月15日
終了:	平成30年2月27日
収穫開始:	平成30年6月4日
終了:	平成30年6月9日

2227	佐原 辰巳他6名	メロン	タカミ
------	----------	-----	-----

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
オーガニック742	フィッシュリプル、脱脂米糠	ジャパンバイオファーム	7	0	4		2		100	元肥	140	1月	1						
キーゼライト	水溶性苦土	三井物産株式会社(山口物産)								元肥	60	1月	1						
2002/6/4	魚かす粉末	千代田肥機株式会社(山口物産)	6	0	4		2		100	元肥	140	1月	1						
アニリッチ	骨粉質類、魚粉類、動物かす粉末類、植物油かす類	長崎油工業株式会社(長崎肥料)	6	0	8		3		100	元肥		1月	1						
ハーモニーシエル	かき殻	ジャパンバイオファーム		0						元肥									
堆肥																			
古代天然苦土																			
微量要素																			
鉄																			
マンガン																			
ホウ素																			

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量(kg/10a)	
慣行使用量	14	
計画使用量	0	

\*節減対象農薬

	当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除	
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤	3	22	
殺菌剤	4		
その他薬剤			
合計	7	22	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	ランマンフロアブル	シアンファミド		べと病、根こぼ病	2000		前日まで								4	4
殺虫	チェス顆粒水和剤	ピメトロジン		コナジラミ類・アブラムシ類	5000		3日前								4	4
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病やダニの予防	1000		-	0							-	-
殺菌	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム		うどんこ病菌、灰色かび病菌	1000		前日まで	0							-	-
殺菌	ホライズンドライフロアブル	シモキサニル・ファモキサドン		べと病・疫病	2500		前日まで								3	3,3
殺菌	キノドー水和剤	有機銅		べと病、炭疽病	800		10日前								5	5
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類、コナジラミ類	4000		前日まで								2	2
殺菌	アミスター20フロアブル	アノキシストロビン		うどんこ病菌、つる枯病、べと病	2000		前日まで								4	4
生長調整	トマトーン	4-CPA		着果促進	100		開花前日から翌日まで					開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花につき1回
生長調整	ジベレリン液剤	ジベレリン		着果促進	200ppm		開花前日から翌日まで					開花前日から翌日まで	1	1	1花につき1回	1花当たり1回
生長調整	アークランド液剤	1-ナフタレン酢酸ナトリウム		果実肥大促進	4000		開花前日から翌日まで								2	2

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月	施肥、定植	定植
3月		
4月	防除	
5月	防除	
6月	収穫・収穫終了	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

定植開始:	平成30年3月7日
終了:	平成30年3月7日
収穫開始:	平成30年6月8日
終了:	平成30年6月13日